システムキッチン
取扱説明書

ESシリーズ
(E-select)

もくじ

このたびは、ファーストプラス システムキッチンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」（P.2～4）はご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

■お買上げになられました商品とこの説明書の内容とは、機種・間口などにより、仕様が異なることがあります。予めご了承ください。

■転居される場合は、新しく入居される方が製品を安全にお使いいただくために、この取扱説明書及び据付説明書、キャビネットやビルトイン機器に付属の説明書を新しく入居される方、または取次ぎされる方にお渡しください。

1　安全上のご注意（必ずお守りください）

この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。
  安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方が、いつでも見ることができる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。

⚠警告	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
⚠注意	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

	このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

⚠警告

- 組込まれる機器・水栓金具などについては、それぞれの説明書及び製品本体の表示事項をお守りください。

使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

- 調理機器の使用後やお出かけのときは、スイッチを「切」にしてください。

周囲の可燃物に着火し、火災の原因になることがあります。

- 調理機器の上や周りには燃える物を置かないでください。

スイッチの切忘れなどにより着火し、火災の原因になることがあります。

- 絶対に改造・分解・修理をしないでください。

火災、感電、破損、水漏れ、ケガの原因になります。

⚠注意

- 扉が傾いたり、ガタついているときは、蝶番を確実に取付けてください。

扉が落ちて、ケガをするおそれがあります。
※蝶番の調整方法は、P.11をご覧ください。

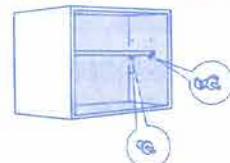
- 扉を大きく開けすぎないでください。

扉が外れて、
ケガをするおそれがあります。

- 調理機器の使用中、使用直後は、調理機器周辺に手をふれないでください。

調理機器周辺の表面温度が高くなっているので、ヤケドのおそれがあります。

- 棚板の棚受けは、確実に奥まで差込んでください。

棚板が落下してケガをするおそれがあります。
※棚板のセットのしかたは、P.6をご覧ください。

- 電球や蛍光灯は指定のワット数と形状のものをお使いください。

ワット数と形状が異なると火災のおそれがあります。

⚠注意

- 扉や取っ手､引出しにぶら下がらないでください。

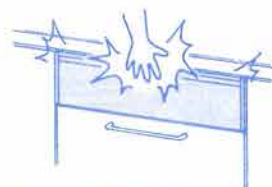
扉や取っ手、引出しが外れて、ケガをするおそれがあります。

- スライド収納に過度の荷重をかけたり、踏み台代りに乗ったりしないでください。

転倒や破損の原因となります。

- 棚やスライド収納には､許容積載量以上載せないでください。

載せているものが落ち､ケガをするおそれがあります。

- 包丁フラップ収納の扉を、強い力で開閉しないでください。

強い力で開閉すると、衝撃で包丁フラップ収納が壊れたり、中の包丁が落ちてケガをするおそれがあります。

- 包丁フラップ収納に、扉の開閉に支障をきたす形状の包丁は収納しないでください。扉を閉める時は、包丁が確実に納まっているか、確認してから閉めてください。

包丁フラップ収納が壊れたり、中の包丁が落ちてケガをするおそれがあります。

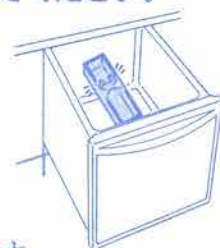
- 包丁フラップ収納にぶら下がったり、強く揺すったりしないでください。

包丁フラップ収納が壊れて落ちたり、収納した包丁が落ちてケガをすることがあります。

- 固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしないでください。

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。
保管の場所や方法に十分注意してください。
その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。

※塩素系ヌメリ取り剤について
塩素系のヌメリ取り剤は水分に反応して塩素系のガスを発生します。このガスはヌメリ取りに効果がありますが、ステンレスなど金属をさびさせたり、ゴムを劣化させます。特に、洗剤ポケットなどガスの拡散しにくい個所で「さび」などがでやすくなります。

- 水受けトレイや引出しトレイ等、樹脂製のものを食器洗乾燥機に入れないでください。

変形するおそれがあります。

- てんぷら油や多量の熱湯を、直接排水口に流さないでください。

排水器具などが変形し、
水漏れの原因になることがあります。

- 耐震ラッチのロック作動時に扉を無理にあけないでください。

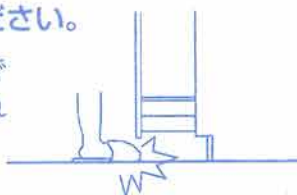
耐震ラッチの誤作動や、フックが変形して扉がピッタリしまらなくなります。

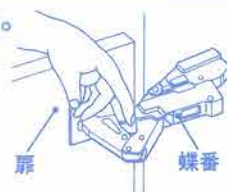
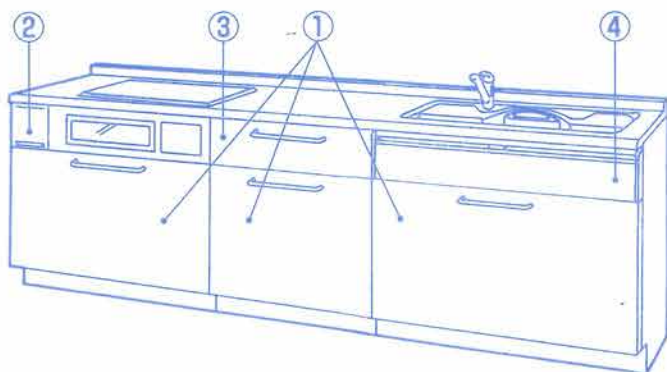
- 廃棄処分の際は、必ず許可を受けている業者に処理を依頼してください。

詳しくは、販売店へご相談ください。

⚠注意

● 扉やスライド収納の開閉は、足元に注意して行ってください。

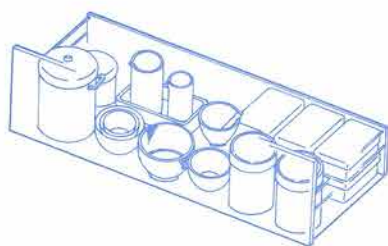
足をはさみ込んでケガをするおそれがあります。

● 蝶番周辺は触らないでください。特に小さなお子さまが、蝶番に触れないようご注意ください。

扉の開閉時に指をはさみ、ケガをするおそれがあります。

2　ご使用方法（ベースキャビネット）

①・③の引出し
許容積載量　15kg

※スライド収納、調理引出しの取外し、取付け、調整方法についてはP.10をご覧ください。

〈全プラン共通項目〉

① スライド収納

〈シンクキャビネット〉
水周りで使うボウルやザル、水を入れてから火にかける大鍋などを収納しておくと便利です。

〈調理キャビネット〉
調味料ボトル等の収納に便利です。

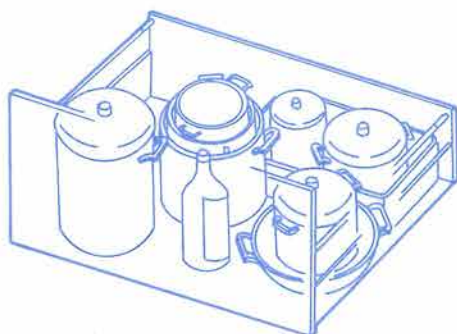
〈コンロキャビネット〉
コンロ周りで使う、大きな鍋やフライパン、サラダ油などを収納しておくと便利です。

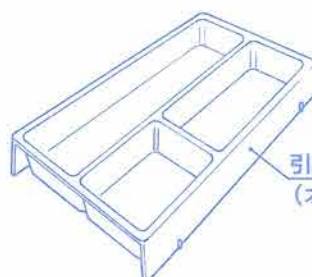
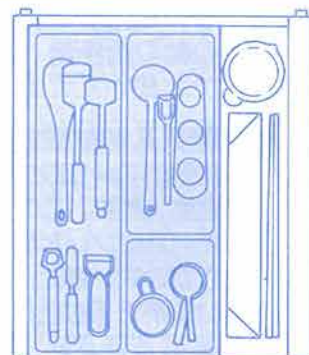
②小引出し

コンロの横についている小引出しです。
調味料などを収納していただくと、調理の時、サッと使えて大変便利です。

● **引出し本体を引抜く**
引出し本体を引きった後手前を持ち上げて、抜いてください。

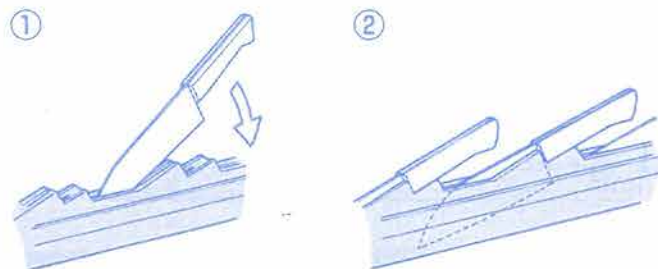
● **引出し本体をセットする**
引抜く時と、逆の要領で行ってください。

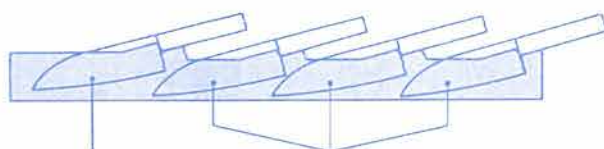
許容積載量
5kg

③調理引出し

普段よく使う計量カップやレードル類の収納に便利です。

④包丁フラップ収納（オプション）

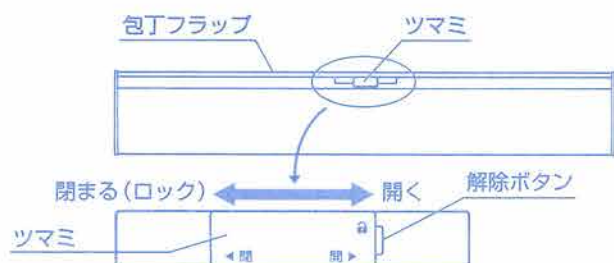
取出しやすいシンク前の幕板部分に、4本の包丁を収納できます。包丁差しは取外して丸洗いできます。

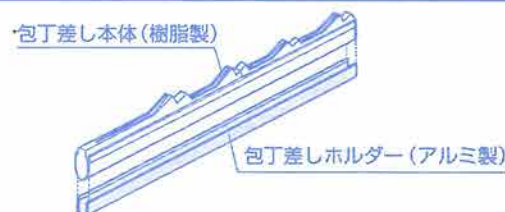
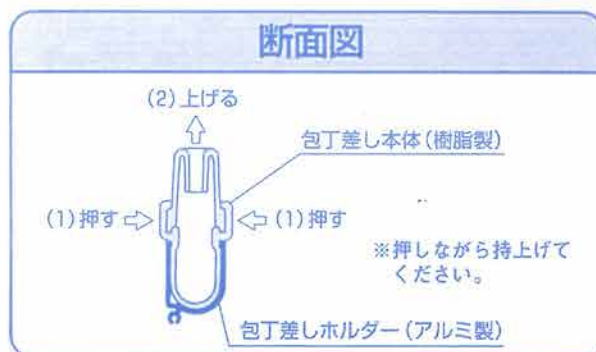
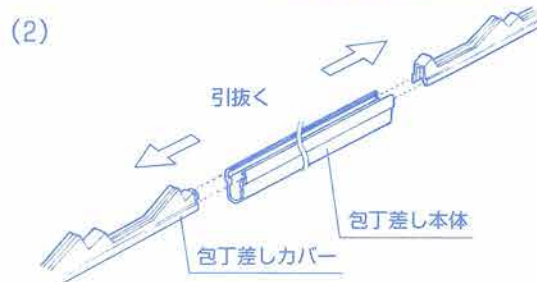
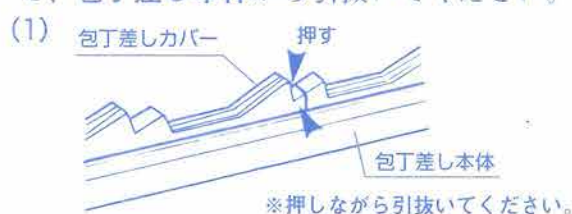
● 包丁の入れ方

包丁差しの溝に沿って刃先から包丁を差込み図②のように確実にセットしてください。

※包丁のサイズや形状によって扉が閉まらなかったり包丁が入らない場合があります。扉の開閉に支障をきたす形状の包丁は、収納しないでください。

参考寸法

※刃渡り約200mmまで（菜切り包丁も入ります。）　※刃渡り約180mmまで（文化包丁の場合。）

● 扉のロック

扉中央のツマミを左へスライドさせると包丁フラップ収納の扉にロックが掛かります。
解除ボタンを押しながら右へスライドさせるとロックが解除されます。

● 包丁差しの取外し

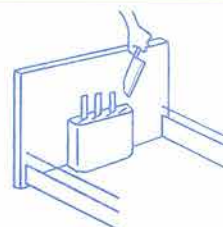
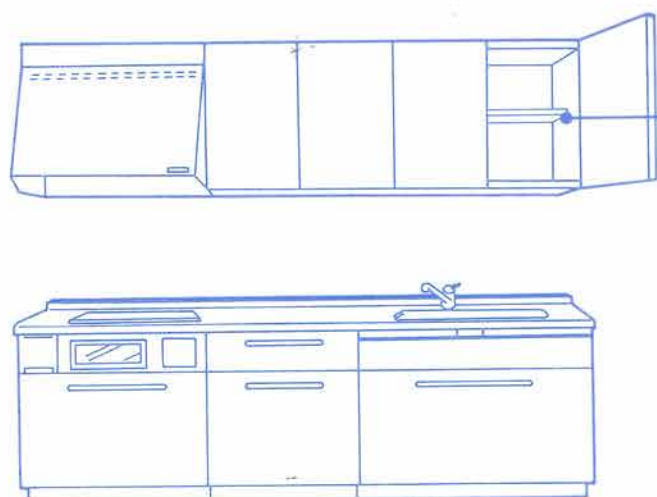
①図のように**包丁差しホルダー（アルミ製）**から**包丁差し本体（樹脂製）**を取外します。

②図のように**包丁差しカバー**を左右に分割して、**包丁差し本体**から引抜いてください。

③包丁差しをセットする場合は、取外しと逆の要領で行ってください。

包丁差し

シンクキャビネットの扉裏に4本の包丁を収納できます。

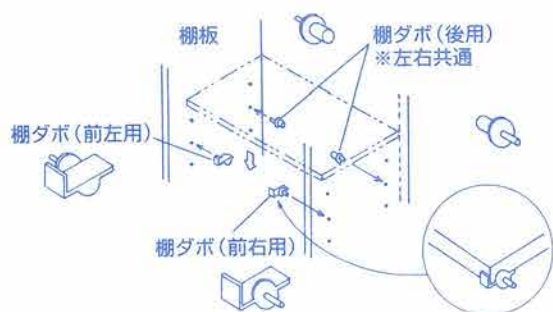
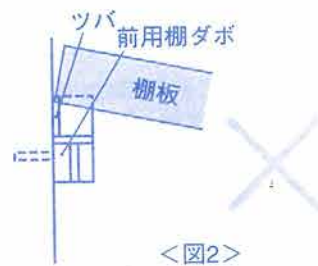
お願い

● 包丁を納めるときは、刃先から入れ、中に納まったか確認してください。

落とすと指や手足にケガをするおそれがあります。

3 ご使用方法（吊戸棚・食器戸棚・カウンターキャビネット）

①移動棚

棚板の高さを収納するものに合わせて調節することができます。

● **棚板の固定**

棚ダボを棚受け穴に差込み、<図1>のように、棚板がガタつかないよう水平にのせてください。
<図2>のように棚ダボのツバの上に棚板がのらないように確実にのせてください。

耐震ラッチ（オプション）

不意に起こる地震や突然の揺れがきたら、自動的に感知して扉をロックし、収納物の落下を防ぎます。

※地質・建物の構造・階数・ユニットの使われ方により、性能を充分に発揮しない場合があります。

● **通常使用時**

① 通常使用時、扉は自由に開閉できます。（図1）

② 震度4～5の地震の揺れが加わるとロックされます。

※揺れが続いている状態や、キャビネットが傾いている状態ではロックが保たれます。（図2）

③ 揺れやキャビネットの傾きが直ると、自由に開閉できる状態に戻ります。

■通常使用時（図1）

扉
ラッチ本体
扉を自由に開閉できる

■ロック時（図2）

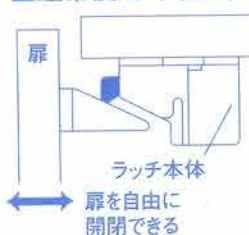
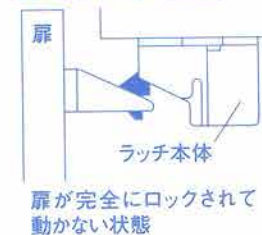
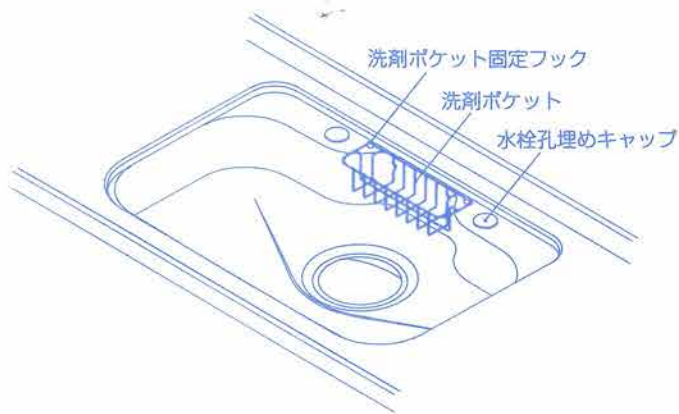
扉
ラッチ本体
扉が完全にロックされて動かない状態

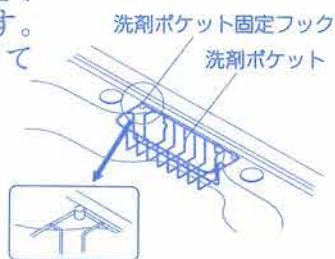
● **お手入れ方法**

ほこりやゴミが耐震ラッチ本体にたまると、誤作動の原因となりますので、水をふくませた布などで拭いて取除いてください。

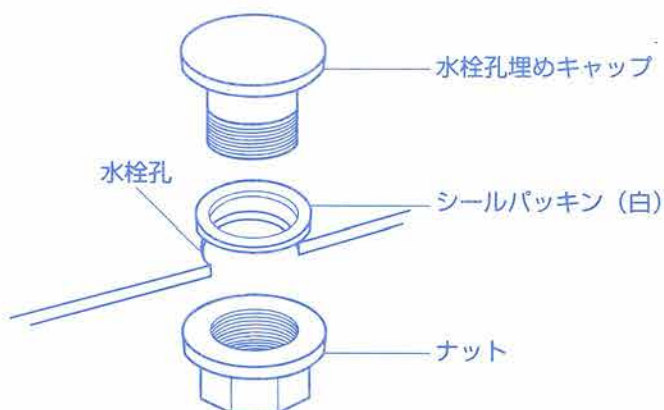
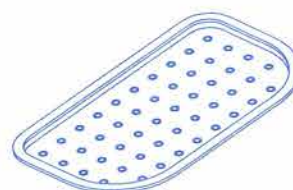
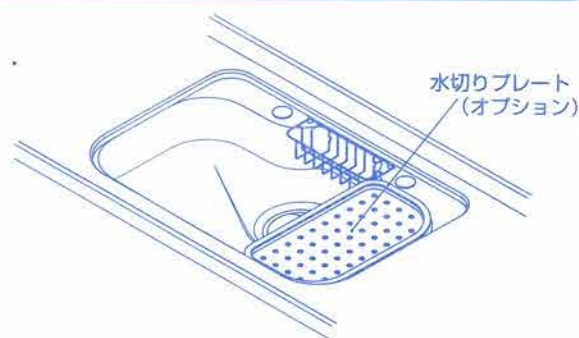
● **作動確認**

扉を調整した後、据付説明書を参照して必ず耐震ラッチの作動確認をしてください。

4 ご使用方法（シンク）

洗剤ポケット

シンク周りの洗剤類を、まとめて収納できます。着脱式なので、取外して丸洗いできます。

- **取外し・取付け方**
  洗剤ポケットを固定フックにひっかけてセットして下さい。

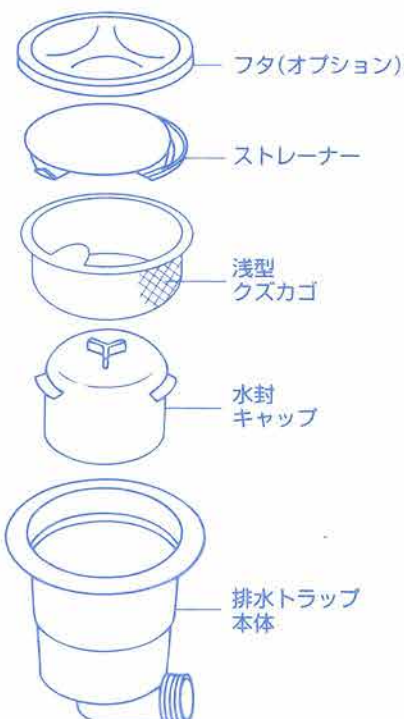
水栓孔埋めキャップ

浄水器などを後付けされる場合は、水栓孔埋めキャップを外してお使いください。

水切りプレート（オプション）

調理のサポートスペースとして、また食器などの水切りにお使いいただけます。

クズカゴ付排水トラップ

- **ゴミの収集方法**
  シンクの調理くずや、茶がらなどを水といっしょに流しながら、ストレーナーからクズカゴに押込んでください。

- **ゴミの捨て方**
  ストレーナーを外して、クズカゴを取り出し、充分水を切ってから捨ててください。
  クズカゴは、においやヌメリが出る前に、ゴミを捨てていただくように浅型になっています。

- **止水の方法**
  ストレーナーを外して、フタをセットしてください。
  一時的に排水を止めることができます。

5 お手入れ方法

シンナーやベンジンなどの有機溶剤や漂白剤（塩素系）を使用しないでください。

変形する場合があります。

粒子の粗いみがき粉や金属タワシを使用しないでください。

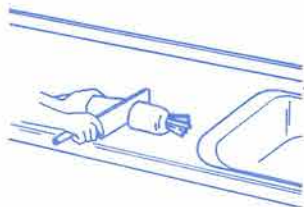
傷が付くことがあります。

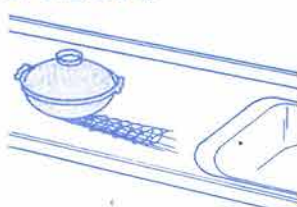
アルカリ性や酸性の強いものを使用したり、付着させたりしないでください。

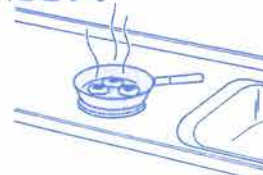
成分が残っていると、劣化や腐食の原因になります。

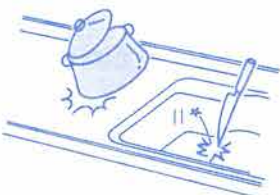
トップ・シンク

お願い（いつまでも快適にお使いいただく為のポイントです。ぜひ、お守りください。）

直接刃物を使用しないでください。

傷が付きますので、まな板をご使用になってください。

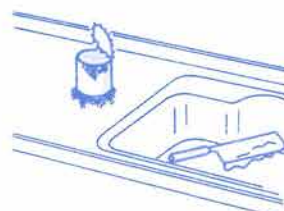
土鍋や洗いおけなどを引きずらないでください。

鍋底の凸凹や、シンク内の砂や泥で傷が付くことがあります。

熱いフライパン等を直接置かないでください。

変色、ひび割れ表面が波打つ原因になりますので、鍋敷き等をご使用になってください。

鋭利な刃物や重量物を落とさないでください。

へこみ、ひび割れ、傷の原因になります。

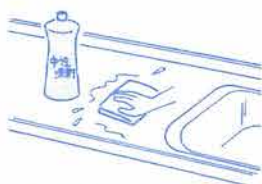
塩、油、調味料や漂白剤（塩素系）、消毒剤などをこぼしたまま放置しないでください。
固形または、粉末の塩素系洗浄剤、漂白剤、消毒剤は使わないでください。

サビや腐食、
変色、劣化の原因になります。

ぬれた包丁、缶詰など、鉄製のものを長時間放置しないでください。

もらいサビの原因になります。

〈普段のお手入れ〉

お湯又は水でうすめた台所用中性洗剤を布にふくませて拭き、水拭きのあと、乾いた柔らかい布で拭いてください。

※ポストフォームカウンターの場合は、お湯又は水拭きのあと、乾いた布で拭いてください。
※水切りプレート（裏側も含めて）も、トップ・シンクと同じようにお手入れしてください。

〈汚れのひどい場合〉

サビが付着した場合、台所用クリームクレンザー（ポストフォーム・カウンターの場合は台所用中性洗剤）をスポンジの柔らかい方にふくませて拭き、水拭きのあと乾いた柔らかい布で拭いてください。

※スポンジのかたい面で拭くと、キズが入るおそれがあります。

〈人造大理石の表面にキズがついた時〉

① 240番の目の粗いサンドペーパーで、キズが消えるまで磨いてください。

② 400番の目の細かいサンドペーパーで軽く磨いて、更にスコッチブライト（ナイロンタワシ）で軽く弧を描くように磨いてください。

③ スポンジにクリームクレンザーを付けるか、水で湿らせたスコッチブライトで、更に全体を磨いてください。

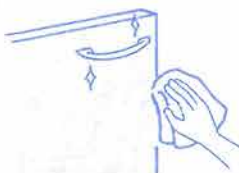
扉・キャビネット・プラスチック部

〈普段のお手入れ〉

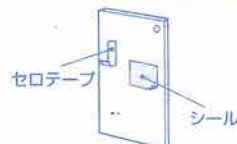
固く絞った布で水拭きした後、乾いた柔らかい布で拭いてください。

- **ガラス扉**
  研磨剤の入っていない市販のガラスクリーナーをご使用ください。
- **天然木の扉**
  水拭きはしないでください。
  月に一回程度、家具用ワックスをかけてください。

〈汚れのひどい場合〉

水でうすめた台所用中性洗剤を布にふくませて拭き、水拭きの後、乾いた柔らかい布で拭いてください。

〈プラスチック部〉

トレイや包丁差しをお手入れする際は、熱湯を使用しないでください。
変形するおそれがあります。

扉・キャビネットにテープ類を貼らないでください。

表面がはがれたり、変色や、汚れが落ちにくくなるおそれがあります。

排水トラップ・クズカゴ

〈普段のお手入れ〉

お湯又は台所用中性洗剤で洗い流してください。
時々、排水パイプ用洗剤を使ってお手入れしてください。
※排水パイプ用洗剤は説明書通り正しくお使いください。

〈水の流れが悪くなったら〉

クズカゴが詰まっていないか点検してください。
次に水封キャップを「開」の方向に回して外し、野菜クズなどが詰まっていたら取除いてください。
お手入れの後は、必ず水封キャップを取付けてください。

※排水トラップ内の（封水）を切らさないようにご注意ください。
封水が切れると、下水や浄化槽からの悪臭や虫が侵入してくるおそれがあります。
また、浄化槽からの塩素ガスなどで、シンクなどのサビや腐食の原因にもなります。

汚れの種類

水あか・湯あか

水道水に含まれるケイ酸などが蓄積した白っぽくざらついた汚れです。残った水滴により発生し、放置するとやっかいな汚れになります。
まめに水気を拭き取ってください。
軽い水あかは、台所用中性洗剤をかけ2〜3分おいてスポンジでこすり落としてください。

ヌメリ

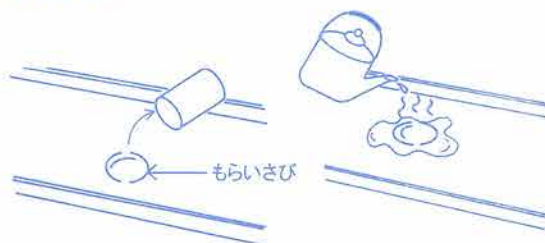
細菌やカビなどの微生物が繁殖し付着した汚れです。
まめにお手入れをして、栄養源となる汚れをためないことで予防してください。
台所用中性洗剤で落ちない汚れは粉末の弱アルカリ性洗剤をかけ、しばらくして水で洗い流してください。

もらいサビ

濡れた缶や水道水に含まれる鉄、外部から入った鉄粉などに発生したサビがステンレスやプラスチックに付着したものです。濡れたものの置忘れにご注意ください。
クリームクレンザーをつけたスポンジで、表面を傷つけないよう軽くこすり落としてください。

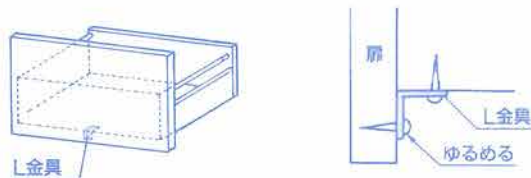
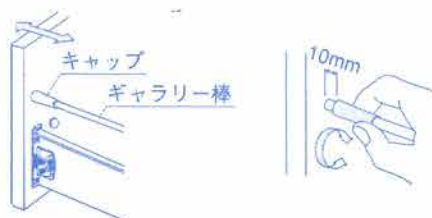
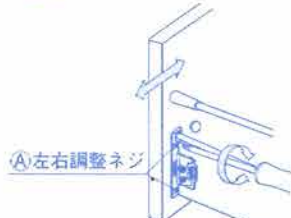
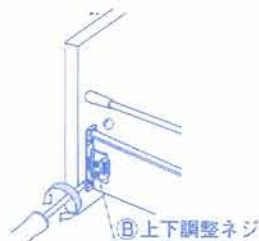
〈ステンレスのサビについて〉

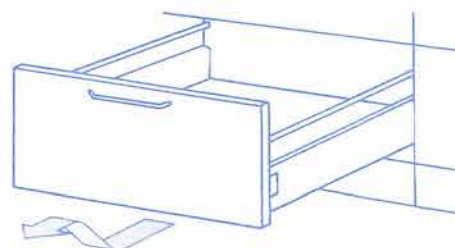
ステンレスにつくほとんどのサビは、素材自体の腐食ではなく、缶・包丁など金属製品の放置によるもらいサビです。
上記の方法で落とすことができ、お湯で温めておくとより落としやすくなります。
ただし、ステンレスは全くサビないわけではありません。

通常、ステンレスがサビないのは、表面の薄い酸化被膜によって守られているためです。この酸化被膜は、少しくらい傷がついても自己修復する性質を持っています。しかし、塩素による浸食は修復が追いつかず、むきだしのステンレスが空気に触れることでサビの発生の原因となります。漂白剤など塩素を含む洗剤を使用した場合は、しっかりと洗い流してください。

6　調整方法

スライド収納・引出し

● 調整方法

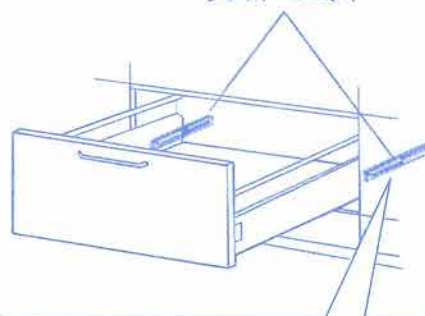
※スライド収納前板の下部にL金具がついている場合は、固定されているネジをゆるめ、調整を行ってから締め直してください。

・前板傾き調整
図の位置にギャラリー棒のキャップをあわせて回すと、前板の傾きを調整できます。

・左右の調整
引出しレール左右のⒶのネジをゆるめ、調整後締め直してください。

・上下の調整
Ⓑのネジを回すと前板の上下を調整できます。

● 取外し・取付け

引出し本体を引きった後、手前を持ち上げて引抜いてください。
セットする時は、取外しと逆の要領で行ってください。

● スローインクローズ(オプション)

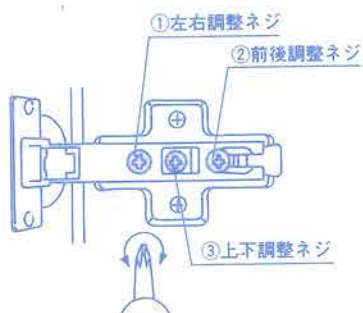
スローインクローズ付きの引出しが完全に閉まらない場合、ダンパーユニットのランナーの位置を移動させてください。

・引出しを引出した状態でランナーが<図1>の位置にある場合、引出しが完全に閉まらないことがあります。

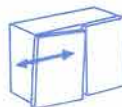
・一度引出しを取外し、<図2>の位置まで左右両側のランナーを移動させてから、引出しを取付けてください。

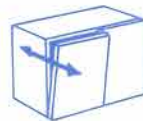
※ランナーが<図2>の位置にあっても引出しが完全に閉まらないときは、扉に物が挟まっていたり、引出しの奥に物が落ちていないかご確認ください。

扉

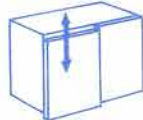
● **調整方法**

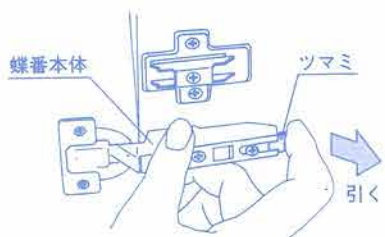
扉は、左右や前後のズレがないように取付けていますが、お使いになっているうちに扉がガタついたり、微調整が必要になる場合があります。その場合は、ドライバー１本で調整できますので、蝶番の①②③のネジで行ってください。

・扉の左右調整

②のネジを締めたまま①のネジを回して調整してください。

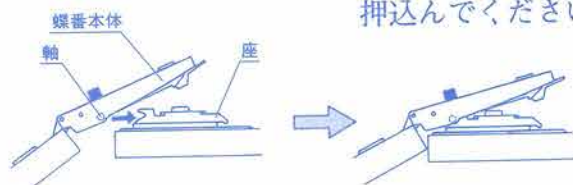
外側によせる
①のネジ
内側によせる

・扉の前後調整

②のネジをゆるめ、調整後、締め直してください。

・扉の上下調整

③のネジをゆるめ、調整後、締め直してください。

● **取外し**

扉を持ちながら、蝶番本体のレバーを引いて、外してください。

● **取付け**

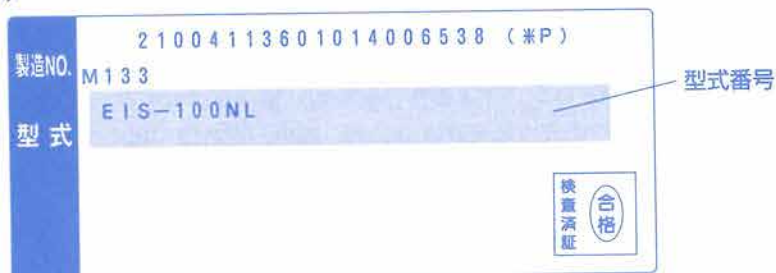
蝶番本体の軸を座にはめてください。

蝶番本体を座にカチッと音がするまで確実に押込んでください。

7 お問合せ

お気付きの点や故障のおきたときは、お買上げ販売店にお問合せください。
なお、ご連絡いただくときは、扉の裏面やキャビネット内に貼付けてあるラベルの型式番号もあわせてお知らせください。

〈見本〉

製造NO. 21004113601014006538 (*P)
M133
型式 EIS−100NL
検査済証 合格

型式番号

本社（アフターサービス課）	兵庫県伊丹市森本9-50	〒664-0842	TEL(072)773-4124
仙台営業所	宮城県仙台市若林区6丁の目北町4-20	〒984-0003	TEL(022)390-1351
千葉営業所	千葉県野田市中野台533-1	〒278-0035	TEL(04)7125-6167
立川営業所	東京都立川市若葉町3-25-1	〒190-0001	TEL(042)538-3050
名古屋営業所	愛知県名古屋市西区歌里町357	〒452-0807	TEL(052)505-0803
大阪営業所	兵庫県伊丹市森本9-50	〒664-0842	TEL(072)773-4125
福岡営業所	福岡県福岡市博多区博多駅南3-8-13	〒816-0852	TEL(092)433-0815